

企画展

「岡本太郎とメディアアート 山口勝弘—受け継がれるもの」

2017年11月3日(金・祝)～ 2018年1月28日(日)



アヴァンギャルドの一匹狼として、戦後日本の美術界にノンを突きつけた岡本太郎ですが、同時に分野を超えた新しい芸術の展開を求める活動の中では、そこに集う若い芸術家達に惜しみのない支援を欠かしませんでした。その精神を受け継ぎ、時代に先駆け独自の表現を確立していったアーティストに山口勝弘がいます。インターメディアの先駆けとなる「実験工房」の時代からインタラクティブな関係をめざした「ビデオアート」や「環境芸術」など、アートとテクノロジー、そして社会との関わりを掘り下げ、新たな表現に挑んだ山口もまた、次世代を継ぐ多くのアーティストを世に送り出すことにより現代のメディアアートという分野が確立されたのです。

本展は、岡本太郎から山口勝弘、そして彼らの活動の先に開花したメディアアートを担う現代アーティスト 10 人の作品を紹介し、会場には山口勝弘が岡本に捧げたオマージュ作品をはじめ、現代アーティストの作品が岡本太郎の展示空間でコラボレーションします。戦後日本の現代美術の原点から始まり、アートとテクノロジーの融合をめざした新しい芸術分野の成立に至るメディアアートの歴史的な連続性を概観していただければと思います。

開催概要

- 主 催：川崎市岡本太郎美術館、「岡本太郎とメディアアート」展実行委員会
- 協 力：東京都現代美術館、東京都写真美術館、神奈川県立近代美術館、川崎市市民ミュージアム  
一般財団法人草月会、横田茂ギャラリー、サンコロナ小田株式会社
- 会 期：2017年11月3日(金・祝)～ 2018年1月28日(日)
- 休館日：月曜日(1月8日を除く)、11月24日、12月29日～1月3日、1月9日
- 会 場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室
- 時 間：9:30～17:00(入館は16:30)
- 料 金：一般900円(720円)、高校・大学生・65歳以上700円(560円)、中学生以下無料  
( )内は団体料金

本展特設サイトはこちら <http://taroandmediaart.com>

展示作品

油彩、彫刻、VR、プロジェクションマッピング、レーザー光線によるインスタレーション、サウンドインスタレーション他



山口勝弘《川崎》1988年



原田大三郎《TAR0360°》2017年



岩井俊雄《時間層 II》1985年

岡本太郎

油彩《夜》1947年、《森の掟》1950年、《黒い太陽》1949年他 彫刻《若い時計台》1966年、《樹人》1971年、《誇り》1962年他 光る壁画《星・花・人》1971年他

山口勝弘

ビデオ彫刻《黒い太陽 - 岡本太郎に捧ぐ -》1996年、《川崎》1988年、《光のオブジェ Y》1970年、《ヴィトリヌス 青い惑星》1955年他

幸村真佐男

パソコン・プリンターによる生成ライブパフォーマンス《岡本太郎語録・芸術は爆発だ！編》2017年他

高橋士郎

キネティック・アート 平行軸立体機構 詩的平行四辺形 1969年、気膜ロボット《パイラ人—岡本太郎に捧げるバボット》2017年他

中嶋 興

映像作品《鎮魂の舞》2017年

原田大三郎

VR作品《TAR0360°》2017年

P. I. C. S TECH (寺井弘典、弓削淑隆、坂本立羽、中村祐樹、上野陸)

岡本太郎作品《樹人》へのプロジェクションマッピング 2017年

岩井俊雄

《時間層 II》1985年

田中敬一

レーザー光線による空間インスタレーション《Light Ambient Cloud》2017年

明和電機

《芸術はマスプロだ！》明和電機製品シリーズより マスプロダクトとアートの接点 2017年

森脇裕之

インタラクティブ・アート《レイヨ=グラフィー》1990年

クリストフ・シャルル

岡本太郎美術館のためのサウンドインスタレーション 2017年

## 山口勝弘アーカイブロード

山口勝弘・岡本太郎の活動を年譜・映像でご紹介します。

### 関連イベント

---

#### 動く《パイラ人》美術館に出現

高橋土郎の気膜ロボット・バボットが岡本太郎のデザインした宇宙人《パイラ人》と  
なって美術館に登場します。

日時：会期中の土、日、祝日（年末年始を除く、雨天中止）10:00～16:00

場所：岡本太郎美術館入口（屋外）



#### メディアオペラ 2017

山口勝弘の芸術活動 70 年周年を祝い、岡本太郎と出会った 1948 年からの山口の活動を《時間の旅》に仕立て《メディア  
オペラ》を上演致します。

出演：音楽/クリストフ・シャルル、書上奈朋子 ダンス/JOU、アンサンブル・プラネタ

日時：11 月 4 日（土）14:00～14:30

場所：常設展示室

料金：観覧料のみ

定員：なし

#### 展覧会記念シンポジウム

パネラー：山口勝弘、書上奈朋子、クリストフ・シャルル、森脇裕之(司会)

日時：11 月 4 日（土）15:30～16:30(開場 15:00)

場所：ガイダンスホール

料金：無料

定員：80 名

#### なんだ！この楽器は！？ペロミン工作ワークショップ！

明和電機の製品「ペロミン」のカブリモノを作るワークショップです。

最後はみんなでペロミンを装着し、大演奏会をしましょう。

日時：11 月 18 日（土）13:00～15:00

講師：明和電機

場所：創作アトリエ

料金：ミュージアムショップで制作キット（2500 円）を購入

定員：25 名

対象：小学 3 年生以上

申込：電話申込(ホームページをご覧ください)



## 川崎市岡本太郎美術館 Press Release

### フシギ工作

「パラパラ影絵箱を作ろう！」

電子回路を組み立て、LED を点滅させてパラパラ漫画を作ります。

日時：12月10日(日)10:30～12:00 (1回目) /14:00～15:30 (2回目)

講師：伊藤尚未

場所：ガイダンスホール

料金：参加者はミュージアムショップで制作キット (1500 円) を購入

定員：20 名 (事前申込)

対象：小学生以下 (小学3年生以下は保護者同伴)

申込：電話申込 (ホームページをご覧ください)

「イルミラマを作ろう」

LED をランダムに光らせる電子回路をつかい、幻想的なイルミネーションを作ります。

日時：12月17日(日)10:30～12:00 (1回目) /14:00～15:30 (2回目)

講師：伊藤尚未

場所：ガイダンスホール

料金：参加者はミュージアムショップで制作キット (1500 円) を購入

定員：20 名 (事前申込)

対象：小学生以下 (小学3年生以下は保護者同伴)

申込：電話申込 (ホームページをご覧ください)

「VR でつくろう！キミだけの TARO ミュージアム！」

工学部の学生と簡単なプログラムにふれながら、自分だけの岡本太郎空間を作ります。

岡本太郎の世界をプログラミングしましょう。

日時：12月23日(土・祝)10:00～13:00 (1回目) /14:00～16:00 (2回目)

講師：日本工業大学

場所：ガイダンスホール

定員：各回 15 名

料金：無料

対象：1回目 小学1～3年生/2回目 小学4～6年生

申込：電話申込(ホームページをご覧ください)



### 映画「宇宙人東京に現る」上映会

岡本太郎がデザインした宇宙人「パイラ人」が登場する映画「宇宙人東京に現る」1956年(大映)のDVDの上映を行います。

日時：2018年1月14日(日)上映 14:00～15:30 (開場 13:30)

場所：ガイダンスホール

料金：無料

定員：80 名

## 川崎市岡本太郎美術館 Press Release

申込：不要

松本俊夫映像上映会&ギャラリートーク(川崎市民ミュージアム学芸員・濱崎好治)

日時：2018年1月21日(日)上映10:00～12:00(1回目)/13:00～15:00(2回目)

ギャラリートーク 15:00～

場所：ガイダンスホール、展覧会会場(ギャラリートーク)

料金：無料(ギャラリートーク参加の方は観覧料が必要です)

定員：80名

申込：不要

※その他にも、多数のイベント・ワークショップを開催いたします。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp/>

### 写真撮影について

---

本展覧会は来館された方が会場内を自由に写真撮影することができます(フラッシュ、三脚は不可)。ブログ、SNS等への撮影画像掲載も自由です。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区柞形 7-1-5 TEL 044-900-9898/ FAX 044-900-9966

展覧会担当：大杉浩司、木下紗耶子、北川裕介

広報担当：佐藤華林 (o-pr@convention.co.jp)



「岡本太郎とメディアアート 山口勝弘—受け継がれるもの」展  
2017.11.3 (Fri) — 2018.1.28 (Sun)



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

クレジット表記

- ① 山口勝弘《黒い太陽—岡本太郎に捧ぐ—》1996年 ② 岡本太郎《樹人》1971年 ③ 岡本太郎《森の掟》1950年  
④ 岡本太郎《夜》1947年 ⑤ 山口勝弘《川崎》1988年 ⑥ 高橋士郎《パイラ人—岡本太郎に捧げるバボット》2017年  
⑦ 明和電機《芸術はマスプロだ》2017年 ⑧ 田中敬一《LUMINOUS》2014年(参考) ⑨ 原田大三郎《TARO360°》2017年  
⑩ 森脇裕之《レイヨグラフィー》1990年 ⑪ 岩井俊雄《時間層II》1985年 ⑫ 幸村真佐男《沈まない太陽》